

～笑顔を広げ未来へつなげるこども大使～

スポーツ、防災、文化、国際支援、観光促進などさまざまな活動を展開するキッズたち。  
笑顔いっぱい、夢と希望に満ちた瞳がこの街の未来を明るく照らしてくれます。

**スポーツに取り組むことで手に入れた、  
健康と粘り強い気持ち**

幼稚園から水泳教室に通い、3年前からはバドミントンにも取り組んでいます。健康に生活できるのはスポーツのおかげ。また、スポーツでも勉強でも、もうひと頑張りできるようになり、粘り強さが身に付いたと実感しています。このほか運営委員会で、あいさつ運動をしています。これは朝、みんなに大きな声であいさつをする活動。一日の始まりにあいさつを交わすことで、気持ちが通い合うので、「あいさつの輪」を広げたいと思います。



松山市立荏原小学校 平野 智志さん

**防災士と気象予報士、  
2つの夢を叶えて地域に役立ちたい**

僕は「防災についての知識を身に付けたい」と、ジュニア防災リーダークラブのメンバーとして活動を始めました。活動を通じて防災の大切さを学んだことから、防災リュックを準備しました。また松山市は防災士の人数が全国1位なので、将来は防災士になりたいと勉強中です。防災は気象とも密接に関わっていることから、気象予報士になりたいという夢ももっています。そうした資格を生かして、松山の人や暮らしに役立つ人になりたいです。



松山市立余土小学校 村上 紬さん

**自然の恵みが豊かな島へ、  
たくさんの人にきてほしい!**

私は県外から中島に引っ越ししてきましたが、一番好きな場所は姫ヶ浜海水浴場。夏は家族や友人とビーチで遊ぶのが何よりの楽しみです。この海水浴場はトライアスロン中島大会の舞台でもあり、私たちは選手たちを一生懸命応援して大会を盛り上げています。また海では鯛やアジが水揚げされ、ヒジキもたくさん採れます。山は柑橘畑が広がっており、自然の恵みが豊かな島は私の自慢。多くの人に島の魅力を味わってもらえたら嬉しいです。



松山市立中島小学校 田中 篠さん

**俳句文化や松山城、道後温泉など  
松山独自の文化や施設が素敵**

私は4年生のときに広島から松山市に転入してきました。2つの町にはいろんな違いがありますが、松山らしさを感じたのは俳句文化。学校でも俳句を作る機会がたくさんあり、少しずつ俳句の面白さが分かり始めました。松山城や道後温泉など、歴史ある施設が暮らしに根付いている点も素敵だと思います。将来の夢は宇宙飛行士になること。そのためにはたくさんの知識を身に付けなければなりません。特に英語に一生懸命取り組みたいです。



松山市立清水小学校 浅井 菜那さん

**国際支援とリサイクル、  
一石二鳥の効果を生み出す学校ぐるみの活動**

新玉小学校は2011年、四国初のユネスコスクールに認定されました。学校ぐるみで世界の子どもたちを幸せにする活動に力を入れています。その一つがペットボトルキャップの回収。これにより困っている子どもにワクチンが打て、リサイクルを促進することができます。このほか難民キャンプで暮らす人に向けた服の回収、モザンビーク支援のためのバザーなど、いずれもSDGsにもつながる有意義な活動としてみんなで力を入れています。



松山市立新玉小学校 松本 拓隼さん

**大好きな道後のために、  
まつやま観光キッズとして活動中!**

「松山市や道後のファンを増やしたい」とまつやま観光キッズになり、お出迎えやティッシュ配りなどで観光客とふれあっています。ティッシュを手渡しするときは「どこから来られましたか」などお声をかけをし、笑顔で会話をしています。僕の父は道後商店街で約80年続いている店を継いでおり、商店街の理事長として道後を元気づけようとしています。僕も大好きな道後のために、これからも自分のできることに取り組んでいきたいです。



松山市立湯葉小学校 石田 龍聖さん



詳しくはこちら

つながりがまちの活力に  
なっているように

タウンミーティング

「現地・現場」を大切に「市民目線」を大切に基本姿勢に、平成23年1月から「タウンミーティング」で市民と市長が直接、意見交換しています。「地域別タウンミーティング」に加え、「世代別・職業別タウンミーティング」を開催し、148回（令和8年2月末現在）を数えます。特徴は「聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしない」こと。市民の皆さんから頂いた意見に、市長が直接回答し、全ての意見を検討して、できることから市政に生かしています。

産学官連携組織  
「まつやま未来コネクト」

令和7年4月に産学官がつながるプラットフォームを設立しました。市の内外から100を超える団体が参加。セミナーやワークショップで情報を共有し、分科会で具体的な取組を進めるほか、地域課題の解決に向け実証事業を行っています。人口減少への対応やSDGsの推進に包括的に取り組み、持続可能な地域の実現を目指します。

松山市SDGs推進  
コンダクター

SDGsを推進する旗振り役として、養成講座を受講した大学生を松山市SDGs推進コンダクターに認定しています。

特色ある学校作りを実施している「SDGsアライアンス校」へコンダクターを派遣し、SDGsにつながる探究的な学習や体験活動をより一層推し進めるほか、低学年を対象にしたSDGsの基礎授業を行っています。

若い世代の交流機会を作り出すとともに、SDGsの達成に向けた行動変容を促し、持続可能なまちづくりを進めています。

多様な地域との連携強化

全国市長会や中核市市長会、東京事務所を持つ都市の会などに参加し、情報を収集しています。共通する課題の調査研究や国などへ要望・提言をし、市政の円滑な運営と発展にいかしています。

また、現在、松山市と近隣市町（伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町）で形成する松山圏域（連携中枢都市圏）で、広域的な視点でほかの自治体や団体と連携し、中核都市として圏域全体の持続的発展や活性化を目指しています。加えて、松山圏域と広島広域都市圏（広島市をはじめ33市町）は、令和6年度末に相互連携協定を締結しました。広域的にヒト・モノ・カネ・情報を循環させ、相乗効果を発揮しています。